



春里中学校

学校だより 令和8年度 6月号

TEL: 048-683-3458

FAX: 048-683-8979

学校教育目標
自ら学ぶ生徒
思いやりのある生徒
健やかな生徒

「言葉の力」

校長 うえ 上 だ 田 やす 泰 まさ 正

校庭の木々の緑も一段と深まり、日に日に暑さを感じる季節になりました。

学校では、中間テストが終了し、明日から始まる、さいたま市中学校学校総合体育大会や埼玉県吹奏楽連盟中央支部研究発表会に向け、運動部や吹奏楽部の生徒は一生懸命に練習に励んでいます。特に運動部は、県大会、関東大会、全国大会につながる重要な大会です。また、3年生にとっては最後の公式試合になります。本日、全校生徒が体育館に集まり、壮行会を行いました。各部活動の部長が、今までの成果を十分に発揮し、全力で大会に臨む決意を力強く発表しました。

さて、私たちは、社会の中で多くの「言葉」を使って人とコミュニケーションを図り、生活をしています。日頃、何気なく使っている言葉は、人を幸せにしたり、元気や生きる力を与えたりする「魔法のような力」をもっています。逆に、使い方間違えると、人を傷付けたり、不快感を与えたり、時にはそれがきっかけで喧嘩になることもあります。

本校は、日々の生活の中で、「おはようございます」や「こんにちは」という生徒の元気な声が聞こえてきます。あいさつは、その言葉を自ら発したり、聞いたりするたびに、なぜかよい気分になり、一日を気持ちよくスタートすることができます。

また、人と人をつなぐもので、集団生活をしていく上での礼儀としても大切なものでもあります。しかし、あいさつの大切さは形ではなく、簡単な言葉の中に込められたその人の心です。そして、その心が相手に伝わり人の輪が広がると同時に、豊かな人間関係を構築できると思います。相手のよいところを褒める言葉も、人に元気を与える「魔法のような力」になります。このような言葉は、どんどん中学校生活の中で使ってほしいと思います。

逆に、人を傷つける言葉、それは、人によって受け止め方が違います。信頼関係のある友達の中でも、相手の気持ちを考えての言葉が大切です。生徒の皆さんには、人を思いやる優しい心、また、すばらしいことや、美しいものに感動する豊かな心をもって欲しいです。

皆さん一人ひとりが、人の心の痛みを理解できる優しい心をもっていれば、いじめなどは起きません。豊かな心、美しい心をもっている人は、決して人の心を傷付けるようなことはしません。

相手の気持ちや立場に立った「言葉」掛けができ、やる気や元気を相手に生み出すことのできる人間に、自分も含め教職員も生徒もなれたらと思います。先日の全校朝礼でもお話ししましたが、「友達を大切にすること」「自分自身を大切にすること」を忘れないでください。

最後に、御家庭におかれましても、お子様が元気ややる気を起こす「魔法の言葉」掛けをお願いいたします。